

【(仮称)川柳学園】保護者説明会での質問等および回答(要約)

No.	項目	質問等	回答
1	小中一貫校整備 (3学園構想全般)	延期についてニュースで何回か見ました。ニュースでは、早くても1・2年と取り上げられていましたが、本当に1年延期という計画で進むのでしょうか。	当初はおおよそ2年程度かかる見込みでした。しかしながら、子どもたちへの影響を最小限に抑えるために、全庁的に進めていかなければならないということから、関係部署の部長を集め、プロジェクトチームを結成する中で検討を重ねた結果、計画は1年の延期で収まるという結論に至りました。 しかしながら、議会でご承認をいただければ、建設等は進められません。議会でご指摘があった事項を改善し、丁寧な説明を行い、ご理解を頂けるように鋭意努めてまいります。
2	小中一貫校整備 (3学園構想全般)	高学年校舎が建設されますが、これから先5・6年生はずっとこちらの校舎で過ごすことになるのでしょうか。	基本的に高学年児童は新しく建設する校舎で学校生活を送ることとなります。
3	小中一貫校整備 (3学園構想全般)	高学年の校舎が分かれたとき、学校行事は1～4年生と5・6年生で全て分断して行うということになるのでしょうか。	小中一貫教育の視点として4-3-2制でカリキュラムを組んでいくことはありますが、小学校6か年、中学校3か年の枠組みは変わりません。低・中学年と高学年で交流したり、学校行事を一緒に行ったりする等、学校と共に連携しながら計画していきます。
4	小中一貫校整備 (3学園構想全般)	今の通学班は1～6年生で組まれています。今後校舎が分かれたときにどのようなになるのでしょうか。	児童の安全確保が一番であるという観点から、通学班については1～6年生で編成していく予定です。安全な通学路を学校と検討するとともに、学校と連携して交通安全指導を行う等、子どもたちの安全に配慮していきます。
5	小中一貫校整備 (3学園構想全般)	令和8年4月高学年棟供用開始ということは、南中学校と1年かぶるという認識でよいのでしょうか。その場合、学園と関係のない中学校と同じ敷地で過ごすという子ども・先生たちの絵が浮かびません。どういう風に考えているのでしょうか。	学園が異なっても中学校と交流することは様々な利点があると考えています。確かに南中学校は1年後に(仮称)蒲生学園校舎に移ることになりますが、近隣の中学校として交流を深めていきたいと教育委員会としては考えています。
6	小中一貫校整備 (3学園構想全般)	南中の方に高学年が行くことによって、運動時間や送迎の時間はどのようにするのでしょうか。川柳小から進学している中学校ではないため、子どもたちのことも全く知らない子たちと1年間交流するのですか。	3学園じゃないから、連携している学校じゃないから、交流しないというわけではありません。せっかく近くにいるということから、例えば中学校進学時の様々な中学校生活の見通しや希望等、そういった部分の先輩としての交流ということを考えています。高学年校舎を1年前倒して開校することになりますが、川柳小学校の卒業生は現南中学校校舎に通うことになります。1年前倒すことで中学校生活がどういったものなのか、学び、肌で感じてもらう機会を持ってもらうことも1つの理由です。中学生との交流を深める中で、年上の方がどのように生活しているのかというのを肌で感じていただきたいというのが、教育委員会としての1つの狙いでもあります。
7	小中一貫校整備 (3学園構想全般)	令和9年4月に光陽中から分離して(仮称)川柳中に通うということで、今小学校4年生の子は中学校3年生の時に該当する。1番大事な中学校3年生の時期に友達と離れることはかなりストレスで学校に行きたくない子も出てくると思います。そういったところについて、力を貸してくれるのか、子どもたちのことを考えてくれるのか1番気になります。	子どもたちにどう寄り添っていくか、できることを考えていきます。まずは、部活動については、合同で最後卒部するまで、一緒にできないか中学校体育連盟に相談しているところです。

【（仮称）川柳学園】保護者説明会での質問等および回答（要約）

No.	項目	質問等	回答
8	小中一貫校整備 （3学園構想全般）	令和9年に中学校2年生になる子が、光陽中から移動するときに選択することはできないのでしょうか。	選択ということではなく、学区改編を行い、基本的にお住いの地域で学区を定めていくことになります。
9	小中一貫校整備 （3学園構想全般）	分離にあたって子どもたちだけでなく先生たちも分かれることになると思いますが、中2・中3の重要な年代で、移動した際に全て新しい先生になってしまったら、結構影響になるかと思いますが、そういうところはどのようにするのでしょうか。	別れた後に全て新しい先生になってしまうことは、子どもたちにとって影響が大きいので、光陽中学校の先生を全て引き連れてとうわけにはいきませんが、ある程度配慮しながら配置していきます。ただし、教員は人事異動により、ある一定以上の数は必ず異動になってしまいます。その中で新たに（仮称）川柳中学校に異動してくる先生もいるということをご理解いただきたいですが、市として配慮はしていきたいと思っています。
10	小中一貫校整備 （3学園構想全般）	1学年あたり100人規模で増えていくと思いますが、運用上今より狭くなると思います。 今の川柳小学校は930人くらいの人数で、運動場も昼休みと5分休み交互に使う等思いっきり遊べなくなってしまうと思います。それについてどのように考えているのですか。	校庭については、児童数が増える中で1人あたりの面積を確保することは難しいところがあるのは事実です。その点については、学校長も様々な案を考えながらご対応いただいているところです。教育委員会としては、今回の説明にもあったように校庭の拡張をすることで、少しでも子どもたちへの影響を少なくしようと考えています。あとは、子どもたちが使えるときに元気いっぱい使えるよう、カリキュラムの編成や使える学年を分ける等学校と共に考え子どもたちのために進めていきたいと思っています。
11	小中一貫校整備 （3学園構想全般）	今の川柳小学校の校舎に1～6年生が入るように整備していく予定はありますか。	将来的に川柳小学校の児童数が激減した場合は、検討する必要がありますが、小中一貫教育を推進する観点から現在のところは予定していません。

【(仮称)川柳学園】保護者説明会での質問等および回答(要約)

No.	項目	質問等	回答
12	小中一貫校整備 (3学園構想全般)	責める場にしたくないので、気持ちを聞いてほしいです。学園構想については、こういう内容で進んだということで心づもりをして動いています。開校時、子ども達が受験シーズンを迎えることになる親たちは必死に考えています。情報がたくさんほしいです。審議会等「こういう話がありました。」という配布資料A4サイズ1枚のみで内容がわかりません。何を話して何が決まったのか、私たちは知る方法がありません。インターネット社会なので、もっとITを活用するなり、このホームページを見てくださなり、cityメールもあるので、できるだけ逐一情報がわかるようにしてもらえれば、わからなくて混乱することはないと思います。とても大事な事業であるならば、親に発信する方法をたくさん作ってもらえたらと思います。 また、こういう場で意見をした結果変わるのか、汲み取ってもらえるのか、できる、できない、はっきりした回答を親は求めています。丸く収めるのではなく、現実的な話ができる場にしてもらえたらと思います。 それから、審議会でPTA会長等が出席をしているようですが、大多数の親の意見は届いていません。意見を主張する場がないと感じています。説明会の資料にも電話番号しか載っていません。「こうなったらいいのに」と思っていることを電話するのは勇気がいります。メールや簡単な交流会をたくさん開いてもらえれば、意見を言いに行こうかなとなります。もっと気軽に意見を言える関係性を市や教育委員会と作れたらいいと思っています。 また、川柳小の通学域はとても広く、子どもたちを安全に通学させることがどれだけ大変か痛感しています。5・6年生が移動した時にどうするか本当に悩んでいます。机上の空論だけではどうしようもないので、予算を取ってバスを出す等してほしいです。1番端のレイクタウン5丁目の子たちは1年生であれば1時間かけて来ます。そういうところまで配慮していただいて、バスや現実的な学区編成をする等話を広げてもらえたらと思います。 「子どもたちへの影響がないように」「円滑に学校生活が進んでいくように」と言うが影響は絶対あります。私たちも覚悟はしています。ここに問題がある、ここに影響が出る、なのでどうするかというのを一緒に話し合える場にしてほしい。絶対影響が何もないなんて無理です。せっかく通わせるのであれば逆に「5・6年生が離れてよかった」と思えるような環境にしてほしいです。そのために協力できる親はたくさんいます。こうです、こうします、頑張りますだけでは無理なので、現実的なプランの話を少しでもしてほしいです。まだ先の話ではあるが、今からでも親は心配で、どの道を通るのか誰が班長をするのか、給食どうするのか、現実的に考えています。保護者・教育委員会・学校の異なる視点ではありますが、上手くまとまるように話し合いをしていけたらと思います。	貴重なご意見に感謝します。たくさんのご意見を反映させながら事業を進めていきたいと思います。

【（仮称）川柳学園】保護者説明会での質問等および回答（要約）

No.	項目	質問等	回答
13	小中一貫校整備 （3学園構想全般）	令和9年に入学予定の小学校1年生の人数はどれくらいですか。どれくらい増えるのでしょうか。	児童数は256人になると推計しています。これは実際の入学者数ではなく、住民基本台帳上で該当する年齢の児童数で算出しているため、実際に入学する児童の数字と一致しないこともあります。
14	小中一貫校整備 （3学園構想全般）	光陽中学校区について、説明の中でレイクタウン5丁目が（仮称）川柳学園の対象となるということですが、現時点では、大相模中学校区で、対象児童は大相模中学校に進学後、中学2・3年生の時に（仮称）川柳中学校に移動するということでしょうか。	現在、レイクタウン5丁目は川柳小通学区であり進学先は大相模中学校となっていますが、将来的には、川柳小学校の卒業生は（仮称）川柳中学校に進学することで、小学校と中学校の学区を一致させることを目指しています。これから学区審議会という通学域の区域設定を審議する機関に教育委員会より諮問させていただき予定です。通学域の改編について、まず大相模中学校の通学域を光陽中学校の通学域に変更をさせていただき、将来的には光陽中学校から（仮称）川柳中学校に再度改編する手続きを進めていきます。そのため、いきなり大相模中学校から（仮称）川柳中学校になるということではないので、ご理解賜りたいと思います。
15	小中一貫校整備 （3学園構想全般）	レイクタウン5丁目の学区について、大相模中学校から光陽中学校に改編する話は1年くらい前から聞いていたが、どのように進んでいるのでしょうか。 ＜同内容ほか3件＞	現在、すでに学区審議会の中で審議が始まっているところで、停滞しているというわけではありませんので、ご理解賜りたいと思います。
16	議案に関すること	選定審査会について、議会の人達は、元々3人で設定したことを知らなかったのでしょうか。今になって5人じゃないとおかしいと反対していること自体違和感です。自民党・公明党・共産党と結構な人数が反対していたようだが、知らなかった上で反対していたのだとしたら子どもたちがかわいそうである。本当であれば議員の方々に来てもらって説明してほしいくらいですが、そのあたりはどうなのでしょう。	予算委員会等様々な機会の中でご説明をさせていただいたと捉えているが、それが十分伝わらなかった可能性はあります。
17	議案に関すること	整備事業のスケジュールについて、2度目の否決もあり得ると思います。もし、また否決されたらどうするのでしょうか。	私どもとしては、議会でご指摘があった事項を改善し、丁寧な説明を行い、ご理解を頂けるようにしたいと思っています。まず、選定審査会の委員を新たに5人選出し、財務の審査は外部に委託することで、ご指摘のあった点について真摯に改善し、議会のご承認をいただけるようにしていきたいと考えています。 もし、再度ご承認いただけなかったらというのは、そうならないよう丁寧に1つ1つ説明しながら進めているところですのでご理解賜りたいと思います。
18	議案に関すること	議会にご理解いただくという前に、否決された時の案を考えているのですか。学園をやるのかやらないのか（白紙にするのか、延期するのか、縮小するのか）。	3学園構想については、もし、再度ご承認いただけなかった場合でも白紙や縮小はせず、再度延期することになります。
19	延期による影響に関すること	1年遅れることにより、子どもたちへ影響があるということに関して+α何か考えているのでしょうか。例えばもう少し校庭を拡張する等。 ＜同内容ほか1件＞	例えば、川柳小や南中のプールの老朽化が進んでおり、今回のPFI事業の中には含まれていませんが、今後民間のスイミングスクール等連携を図りながら、委託することが可能かどうかということを検討していきたいと思っています。

【(仮称)川柳学園】保護者説明会での質問等および回答(要約)

No.	項目	質問等	回答
20	P F I 事業者選定 審査会に関する事	「性能評価が適切に行われていなかった」というのはどういう意味ですか。せつかく小中一貫校を作るのであれば、子どもたちの学園生活をより良くするための施設を目指していたのでしょうか。	3人の審査委員(建築・教育施設・公認会計士)それぞれが全ての内容の評価を行っていました。公認会計士のような財務を専門にする方が建築の審査をできるのかというご指摘がありました。今後の審査会においては、建築の専門家2人・教育施設の専門家2人・教育の専門家1人の5人の専門家で審査を行うこととしました。
21	P F I 事業者選定 審査会に関する事	選定審査会の委員について、建築の人数を増やすということは、今回建物自体に何かあったのですか。	性能評価については建築の中身に問題があるのではなく、選定審査会の委員数に問題があるということでご指摘をいただきました。提案のあった2つのグループの内容に不都合があったわけではありません。
22	その他整備に関する こと	学童保育室建設について初めて認識しました。整備事業延期の前から計画があったのか、それとも延期の後に決まったのですか。	元々計画がありました。建設は来年度(令和5年度)に行う予定です。学童保育を希望する方が多くいらっしゃるから、不足する部分を含めて建設する予定であり、このことについて変更はありません。
23	その他整備に関する こと	学童保育室を整備する予定地はブランコ等があると思いますが、拡張予定地に遊具を新設する予定はあるのでしょうか。	おっしゃる通り学童保育室整備予定地に遊具があるため、拡張予定地に新しい遊具を設置する予定です。ただ、学童保育室整備予定地にある全ての遊具が拡張予定地に設置されるわけではありません。その点については、ご理解賜りたいと思います。
24	その他整備に関する こと	校舎や学童が新しくなることはご説明いただきましたが、プールはどうなるのでしょうか。見た感じがかなり古かったり道路に面していたり、今の時代にそぐわないプールだと感じています。今回の整備計画にプールは入っていないようですが、そのままなのでしょうか。	プールの老朽化については、教育委員会等でも検討しています。新たに建てるあるいは民間企業と連携を取りながらスイミングスクール等へ委託をすることで、建設コストを下げ子どもたちへ、より良い学習環境を提供していくことも視野に入れて検討中です。現時点では見通しは立っていませんが、既存のプールが使えないということではない中で、次の手立てを考えているところです。
25	その他整備に関する こと	学童保育室の整備について、これこそ拡張予定地に建てた方が校庭としての使い勝手がいいように思います。また、新しく学童保育室を作る際には今の規模を1つにまとめるということで良いのでしょうか。	おっしゃるとおり、私どもも拡張予定地に建てたいと計画をしていましたが、建築の規制の中で建てられないと指導を受け、拡張予定地ではなく、今回の整備予定地に学童保育室を整備することとしました。また、学童保育室をどのようにするかは、整備を担当する学校管理課と学童の担当課である青少年課と協議をしながら進めているところです。詳細については、調整をし、決定し次第皆様にお知らせしたいと思います。
26	その他	説明会について、平日の17:00からという子どもたちが帰ってくる時間に設定していますが、説明する気があるのですか。もう少し考えてほしいです。	説明会の時間設定については、お子様が帰ってきた後であり遅くならない時間で設定した意図がありましたが、申し訳ありませんでした。
27	その他	資料最後の学園設置に向けた地域準備会について、全何回開催することを考えているのですか。	学期に1回程度開催しますが、様々なご意見いただく必要がある場面もあるため、必要に応じてその都度開催していきます。

◆質問等の件数：31件(27+同内容4)